

公表

事業所における自己評価結果

討議日

令和7年1月31日

公表日

令和7年3月14日

事業所名	文京区児童発達支援センター放課後等デイサービス「ほっこり」
------	-------------------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導室のほか、ホールや中庭等を活用して、活動内容によって適切なスペースを確保しています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		活動内容やこどもの様子に合わせて、日々の配置を調整しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動場所については、段差のない構造やバリアフリートイレが設置されています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃と整理整頓を行い、環境を整えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて、個別の空間を活用しています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者やクラスリーダーを中心に、業務の見直しを実施し、全体会にて全職員に周知しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者の意向確認及び業務改善のため、保護者アンケートを実施し、結果について検討しました。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年2回のヒアリングを実施しています。また、新規の取り組みに対しては、職員アンケートを実施して、要望や疑問を把握する機会を設定しました。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者評価は3年に一度受けています。直近では、令和5年度、外部機関による第三者評価を受審しました。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員が外部研修を受講した際には、研修内容の報告会を通して、全体で共有しています。係内での自主研修も行っています。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		2025年3月、ホームページにて「支援プログラム」を公表しました。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		専門的な視点でアセスメントを実施したうえで、保護者のニーズを確認して、個別支援計画に反映させています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		多職種のチームで情報共有を行いながら、こどもにとってのより良い育ちを考えて計画内容の検討・作成を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画は、職員間で共有されており、計画に沿って支援を行っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々の行動観察を中心に、必要に応じて発達検査等を実施して、こどもの発達状況、適応状況を把握しています。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	個別支援計画の項目については、ガイドラインを基に、こどもの支援に必要な項目を設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	活動プログラムは、チームで相談しながら立案しています。実施にあたり、こどもの状況に応じて、柔軟に調整や変更をしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	個々のこどもやクラスの状況に応じて、プログラム内容を調整しています。季節の行事等を組み合わせて、実施しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	こどもの状況に応じて、個別的な配慮を行い、集団の中で安定して過ごせるように支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	支援開始前には毎回打ち合わせを行い、その日の支援内容や役割分担を確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	支援終了後には毎回振り返りを行い、次回の支援へとつなげています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	支援内容やこどもの様子は、個別日誌に記録しており、職員間で共有して振り返りを行っています。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	日々の振り返りで確認するとともに、6か月に1回、個別支援計画の見直しを実施しています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○	こどもが遊びを自分で選び、主体的に参加できるように、多彩な活動を設定しています。将来の生活の自立や地域とのつながりを見据えてプログラムを組み立てています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	自由時間の過ごし方、集団活動への参加の仕方などは、こどもが主体的に選択できるように、支援しています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	サービス担当者会議等には、適切な職員が参画できるようにしています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	保護者の希望を確認しながら、必要に応じて、地域との関係機関との連携を実施しています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	個人情報の取り扱いに注意しながら、必要に応じた情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	多機能型事業所のメリットを生かして、児童発達支援との情報共有を行っています。その他の機関とも、必要に応じて連携を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	小学生が通う施設のため、障害福祉サービス事業所への移行はありません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	児童発達支援センター内の放課後等デイサービスとして、運営しています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○	現在は、センター内での活動を中心としており、地域との交流等は行っていません。

と関係 の連携 機関 や保 護者	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○	必要に応じて、担当者が参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	日頃から連絡帳や面談の中で情報共有を行い、共通理解が持てるように心がけています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	ペアレントトレーニングのプログラムは実施していませんが、保護者向け講演会の実施や、保護者との個別相談を必要に応じて行っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	利用開始前の、契約面談や契約説明会にて、説明を行っています。運営規定は施設内に掲示もしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	面談時に本人及び保護者の希望として聞き取りを行い、個別支援計画に反映しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	利用開始前、及び、6か月に1回のモニタリング時に面談を行い、保護者から同意を得ています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	定期的な面談は年1~2回設定しています。必要に応じて、随時の面談を実施しています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○	保護者会等を通して、保護者同士の交流の機会を設定しています。現在、きょうだいの交流の機会はありませんが、保護者の意向を確認しながら、きょうだい支援の在り方を検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談内容に応じて、担任、心理師、看護師等が連携して対応する体制を整えています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	年5回のほっこりだよりと、必要に応じて行事に関するお便りを発行しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報に関する業務では、ダブルチェックを行い、取り扱いには十分注意しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	保護者やこどもの状況に合わせた伝達手段を用いるよう配慮しています。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	地域住民を招待する行事は行っていません。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	教育センター内のマニュアルを職員に共有し、研修や訓練を実施しています。災害時等の対応について、保護者に周知しています。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	業務継続計画を策定し、職員研修にて、周知しました。毎月、地震・火災・Jアラート等の非常災害を想定し、避難訓練を行っています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	利用開始時に、看護師を中心に保護者から聞き取りを行い、その内容を職員間で共有しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	アレルギー除去食のおやつを提供しています。アレルギーのあるこどもについては、保護者から聞き取りを行い、医師の指示書に基づき対応しています。

非常時等の対応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、計画に基づく研修や訓練等を実施しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	契約や保護者会時に、簡潔に説明しています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハット記録を作成し、全職員が閲覧できるようにしています。また、事例と再発防止策について打ち合わせ等で共有しています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止の責任者の設置、定期的な職員研修の実施、虐待防止委員会の開催等、虐待防止のための体制を整えています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	今年度は、該当の事例がありませんでしたが、必要に応じて、身体拘束等適正化対策検討委員会を開催し、組織的に決定する体制を整えています。